



創立150周年記念講演会

井戸堂小学校創立150周年記念式典に続けて記念講演会も行いました。5・6年生が体育館でお話を聞きました。講師は、本年度29年ぶりに全国大会で優勝した天理大学柔道部監督の穴井隆将さんです。

穴井さんは、まずみんなに「夢はありますか。」と問いかけました。そして「夢を持つことは大事だが、ぼんやりしていてもいい。かなわなくてもいい。」とおっしゃいました。意外な言葉にみんなちょっと驚いているようでした。「夢(ドリーム)が、目標(ターゲット)になるとき、目標が変わることで頑張れる。」「ターゲット(的)にねらいを定めて撃つように、目標へ向かって今日何をしないといけないかを考えるようになる。」と続きます。

全日本で優勝、世界大会で優勝、あとはオリンピックだけだと、ロンドンオリンピックの金メダルを目指して努力を続けてきた穴井さんでしたが、なんと2回戦敗退。がんばってもむだだと思って引退しようとしたそうです。そんな時、しつこく先輩からもう1回だけ全日本の大会に出るように言われ練習もあまりしないまま出場し、優勝したそうです。優勝などねらっていなかったのに、いざ畳に上がると負けたくなかったそうです。そして優勝して思ったそうです。「報われない努力はあるが、むだな努力はない。」「オリンピックで負けて全部終わったわけじゃなくて、オリンピックまで23年間積み上げてきた努力はむだではなかった。」と。穴井さんは「よく努力はうそをつかないと言うが、努力はうそをつく。でも、必ずしもかなわなくてもむだではない。前向きにがんばってくれたらうれしい。」とも言ってくださいました。

今年優勝した天理大学柔道部選手たちに伝えたことは、「自然体でやれ」と「仲間を信じろ」ということだったそうです。両方とも簡単なようでとても難しいことです。優勝した時、29年間優勝できなかった先輩たちが、涙を流して喜んでくださったそうです。「努力はむだじゃないよ。」「たくさんの方の努力で、150年間も続いているこの学校にいることはすごいよ。自信をもって明るく元気に過ごしてください。」と温かいエールを送ってくださいました。

5年生が児童代表としてお礼の言葉を伝え、花束を渡しました。子どもたちからは、「『報われない努力はあっても、むだな努力はない』という言葉が心に残りました。」「まず夢を持って、それを目標に変えて頑張りたいと思いました。」などの感想が寄せられました。

マラソン大会がんばりました。応援ありがとうございました。

11月30日(水)にマラソン大会を実施しました。天気心配をしていましたが、雨も降らず、寒すぎず、マラソンとしてはいい状態ででき、なんとか無事に終えられほっとしました。子どもたちの応援に、お家の方もたくさん来てくださいました。PTA役員の方には、事前打ち合わせ、当日ポイントで立っていただくなど、大変お世話をおかけいたしました。ありがとうございました。みんな自分で目標をもって、精一杯がんばりました。翌日、「足が痛い。筋肉痛やー!」と言っている子が結構いました。



